

みなかみ地域エネルギーフェスタ 低炭素社会づくりシンポジウム

『地域エネルギーから温暖化を考えよう』

—利根川上流のみなかみ町と下流の都市部をつないで—

群馬県みなかみ町と東京圏は、利根川を通して水源地と水消費地という関係を長く続けて来ました。飲料水だけでなく大型ダム発電による電力もです。豊富な再生可能エネルギー資源を有するみなかみ町と電力消費の大きな都市部が、その特徴を補完的に活かして連携すれば、環境を保全し地球温暖化を防ぐために有益です。沿海の都市部が上流の森林・里山を守っていくことも重要です。本シンポジウムでは上下流(じょうかりゅう)の市民の協働を具体的に考えたいと思います。

■日時 2015年2月10日(火) 13:30~16:50

■会場 日比谷コンベンションホール

■プログラム

司会進行: 竹内彩乃氏 (PN Power Plants AG)

開会挨拶: 河合進氏 (みなかみ地域エネルギー推進協議会 会長)

来賓挨拶: ミヒャエル・ケスラー氏 (ドイツ連邦共和国大使館 農林課参事官)

来賓挨拶: 中井徳太郎氏 (環境省大臣官房 政策担当審議官)

第1部 パネルディスカッション 13:50~14:40

(1) 「市民協働で歩むみなかみの地域エネルギー事業 ~推進協議会の現状報告と今後の展望」

報告: 河合純男氏 (りゅういき自然エネルギー 代表、みなかみ地域エネルギー推進協議会 事務局長)

(2) ディスカッション「利根川上下流をつないで」

出演: 武本俊彦氏 (食と農の政策アナリスト)、河合純男氏、岡田洋一氏、林市治氏、森下敬氏、竹之内国幹氏、酒井千富氏 (以上、みなかみ地域エネルギー推進協議会)、北村淳子氏 (でんきのもりアセットトラスト代表理事)、オスカー・バルテンシュタイン氏 (Spanner 株式会社)

コーディネーター: 杉浦英世氏 (全国地域エネルギー推進協会事務局長、市民キャビネット農都地域部会代表)

休憩 10分間

第2部 講演・質疑 14:50~16:50

(1) 「欧州における地域・市民主導の低炭素社会づくり ~なぜ市民が主役なのか?」

講師: 千葉恒久氏 (弁護士)

(2) 「バイオエネルギー村への道 ~ドイツでエネルギー協同組合が果たしてきた役割」

講師: ディーター・ヘスル氏 (ヴェッテジゲン エネルギー協同組合 理事長)

通訳: 北村和也氏 (日本再生可能エネルギー総合研究所 代表)

(3) 「わが国における市民出資ファンドの現状と問題点、打開策」

講師: 澤山弘氏 (帝京大学教授、ソーシャルファイナンス支援センター 代表理事)

閉会挨拶: 竹林征雄氏 (バイオマス産業社会ネットワーク 副理事長、エネルギーから経済を考える 経営者ネットワーク会議 理事)

※本シンポジウムは、環境省の「地域における草の根活動支援事業」補助金による低炭素社会づくりの啓発・普及のための活動として開催します。終了後、レセプションを行います。(会場:ホール隣の「ライブラリーダイニング日比谷」)

●主催 株式会社りゅういき自然エネルギー

●後援 ドイツ連邦共和国大使館、みなかみ町、みなかみ地域エネルギー推進協議会

●共催 全国地域エネルギー推進協会、一般社団法人ソーシャルファイナンス支援センター、市民キャビネット農都地域部会・バイオマス発電事業化促進 WG